

第3回日本老年療法学会学術集会

運動機能科学領域 西居 堯真

2024年8月3日、4日に「第3回日本老年療法学会学術集会」が北海道札幌市で開催されました。私は、1日目の8月3日に「地域在住高齢者の生活空間狭小化と関係する因子について」という題目でポスター発表を行いました。ポスター発表はフリーディスカッション方式で、見ていただいた方に内容を説明し、意見交換を行いました。1時間という時間制限がありましたが、臨床で活躍されている理学療法士の方だけでなく、大学教員や大学院生など、より多くの方と意見交換ができました。

研究内容に関して、大阪府貝塚市在住で、「つげさんアタマとカラダを知るヘルスチェック 2023」に参加した方を対象とし、得られたデータを解析しました。目的は、地域在住者高齢者の Life space Assessment(以下、LSA) 得点低下に関連する身体機能および精神心理機能の関連因

子を明らかにすることとしました。生活空間は「日常の活動で一定期間に移動した範囲」と定義されており、特に高齢期には加齢に伴い身体活動量が低下する前駆的な局面に生活空間の狭小化が起こり、身体活動量の低下に繋がることが報告されています。測定項目は、身体機能、認知機能、精神心理機能、基本チェックリスト、転倒の有無、有償の仕事の有無、その他基本属性としました。結果、地域在住者の LSA 低得点群では、平均歩行速度低下、全般的認知機能低下、口腔乾燥が関連していることが示唆されました。

他のポスター発表やシンポジウムなど、大変興味深い内容の演題が多く、非常に刺激的でありました。今回ご意見をいただいた内容を含め、今後さらに学術活動に邁進していきたいと考えております。

